

第39回 心身健康科学サイエンスカフェ

トランス脂肪酸摂取が健康に及ぼす影響 ～アディポサイトカインとの関係性～



人間総合科学大学人間科学部
健康栄養学科 助教

岩崎 有希 先生

平成30年5月11日(金) 18:00 - 20:00

場所：人間総合科学大学 東京サテライト
(東京・お茶の水)

参加費： 500円 受付：17:30～

脂肪細胞は、主な機能がエネルギーの貯蔵であると考えられていましたが、生理活性物質(アディポサイトカイン)を分泌し全身に大きな影響を与えることが分かってきました。中でも、重要な分泌たんぱく質が動脈硬化、メタボリックシンドロームを防ぐとされるアディポネクチンです。これまでの私の研究では、お菓子里に使われるショートニングなどに含まれるエライジン酸(トランス脂肪酸)が、本来は細菌感染センサーであるToll様受容体4(TLR4)の細胞内情報伝達系を介して、アディポネクチン合成を減らしてしまうことを明らかにしました。日本では、エライジン酸を含むトランス脂肪酸の摂取が欧米に比べて少ないから危険性はないと言われていますが、本当にそうなのでしょうか。

今回は、エライジン酸を中心に私の実験結果と、最近報告された、いくつかの疾患、自然免疫系活性化制御に対するTLR4の関りについてお話をさせていただきます。

人間総合科学大学 東京サテライト
(東京・お茶の水)
JR 御茶ノ水駅から徒歩4分

《お問い合わせ、お申し込み》

人間総合科学心身健康科学研究所

E-mail jshas@human.ac.jp

☎ 048-749-6111

webからも申し込めます

